

滋賀県特定(産業別)最低賃金が改定されます

特定(産業別)最低賃金 (12月27日発効)	
産 業 区 分	改定後の最低賃金 (時間/円)
新繊維工業	760円
各種商品小売業	775円
窯業・土石製品製造業	848円
自動車・同付属品製造業	851円
鉄鋼業	775円
一般機械器具製造業	847円
精密電気器具製造業	830円
滋賀県最低賃金 (10月9日発効)	746円

滋賀県特定(産業別)最低賃金が左表のとおり改定され、12月27日から発効します。

最低賃金は、賃金の最低額を保障することによって、労働条件の改善を図り、もって、労働者の生活の安定、労働力の質的向上および事業の公正な競争の確保に資するとともに、国民経済の健全な発展に寄与することにあり、特定(産業別)最低賃金制度は労使交渉を補完・代替する機能を有し、基幹的労働者の最低賃率を形成することによって、事業の公正な競争の確保に寄与しています。

2009年12月から開始された政労使による「雇用戦略対話」では、2020年までの具体的な目標のひとつに「最低賃金については景気状況に配慮しつつ、全国平均1,000円をめざす」ことが確認されています。

これらの背景がある中で、滋賀地方最低賃金審議会の各専門部会で審議が行われました。

労働側が「生活の厳しさ」「生活できる賃金」などを訴え、労使の水準には大きな隔たりのある中でギリギリの交渉が行われ、左表のとおり結審しました。

連合は労働者全体の労働条件底上げのために更なる引き上げに向けた取り組み、さらには違法行為の是正に向け活動を行ってまいります。

おうみ少年少女合唱団 第23回定期演奏会 愛・光・夢

と き 2014年12月23日(火・祝)
13:30 開演
と ころ 大津市民会館大ホール

おうみ少年少女合唱団は、「子どもたちが歌う力を養う中から、自らを表現し社会で行動する能力を高める」ことを目標に、「滋賀の地から全国に向けて新しい子ども文化を発信する」ことを目指して連合滋賀が1990年に設立しました。

発足以来在籍した団員の数も200名を超え、合唱団を巣立った子どもたちの中には専門家への志を抱いて努力を重ね、音楽の指導者として活躍をしている者や演奏家としての活動を広げている者もいます。

夏休みには特別擁護老人ホームへの訪問演奏や、サマーコンサート、10月には定期演奏会に向けての集中練習など行いながら、毎週土曜日に練習をしています。この定期演奏会は子どもたちの練習の集大成です。

ぜひ、ご家族・お友達お誘いあわせのうえ、ご来場ください。

お問い合わせ、お申し込みは連合滋賀まで。

おうみ少年少女合唱団
第23回演奏会
愛・光・夢

2014.12.23(祝) 午後1時30分開演(午後1時開演)
大津市民会館(大ホール)

◆入場料 1,000円(中学生以上)

お問い合わせは連合滋賀
077-523-0500



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2014年11月20日
連合滋賀 第254号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部6円)
印刷 ヌメディア株式会社

ストップ・ザ・格差社会! すべてのはたらくものの連帯で 「安心社会」を切り拓こう! 第26回地方委員会を開催

11月7日(金)午後1時30分よりホテルニューオーミにおいて、連合滋賀第26回地方委員会が構成組織代表の地方委員および特別地方委員、連合滋賀役員、傍聴者等150名の参加のもと開催した。

地方委員会は、川瀬副会長より開会し、議長に駒谷嘉信(UAゼンセン)、石井猛(運輸労連)の両氏を選出した。

連合滋賀執行部を代表して山田清会長が、「労働者保護ルール改悪阻止の取り組みをはじめ、2015春季生活闘争の取り組みなど安倍政権と対峙しながら連合運動を展開していかなければならない。」と挨拶を行った後、来賓として県行政から三日月知事の代理として羽泉商工観光労働部長、連合滋賀議員団会議幹事長江畑弥八郎県議会議員より祝辞をいただいた。



功労者表彰を受けられた皆様(敬称略)

大谷 和雄 前副会長(日教組)
杉田公太郎 前副事務局長(UAゼンセン)



その後議事に入り、2014年度の活動報告と会計決算報告および会計監査報告を行い、各報告事項を全会一致で承認した。

議案提案の前に、2014年度の「連合・愛のカンパ」地域助成団体として、「しがNPOセンター」が連合本部において、本年9月に認定され、助成金が交付されることになり、代表の阿部圭宏さんに目録を授与した。議案では、2015年度の運動方針案、剰余金処分案、予算案、アドバイザーの委嘱等の提案を行った。

また、連合滋賀の活動に長年にわたってご活躍をいただいた2人の方に功労者表彰を行った。

運動方針に関わる質疑では、JR総連の今井委員から、2015春季生活闘争の取り組み、集団的自衛権行使容認の閣議決定に対する取り組み、自治労の工藤委員からも集団的自衛権に関する対応、介護労働者の待遇改善と組織化の取り組みなどの意見・要望が出され、松元事務局長の答弁後、各議案とも参加者全員の賛成により可決された。

地方委員会終了後には、第18回統一地方選挙、2015春季生活闘争勝利に向けた山田会長によるガンパロウ三唱を行い、連合滋賀の闘う意思統一を確認した。



しがNPOセンターに目録を授与
連合組員および家族・退職者が積極的にNPOなどの運営に参加している団体が地域助成に応募できます。

対象となる社会貢献活動

1. 大規模災害などの救援・支援活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動
3. 人権救済活動
4. 地球環境保全活動
5. ハンディキャップをもった人たちの活動
6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動(スポーツを除く)
7. 医療や福祉などの活動
8. 地域コミュニティー活動

主要課題9項目について三日月知事と意見交換 2015「政策・制度要求と提言」で総括協議実施

滋賀県に対する2015「政策・制度要求と提言」の取り組みについては、8月26日に要請書を提出後、3日間にわたり県の9部局との部局協議を行いました。そしてこの部局協議を受けて、11月4日に滋賀県公館において、主要課題を中心に三日月知事や各部長等との「総括協議」を実施しました。

総括協議の開会にあたり、連合滋賀山田会長から、「構成組織、組合員から県行政の課題について多くの意見、要望を取りまとめ、連合滋賀政策委員会や討論集会を開催しながら、11課題52項目にわたる「2015年度政策・制度要求と提言」をとりまとめ提出した。さらに、10月14日、15日、16日の3日間にわたって各部局での重点項目を設定し、重要な課題について掘り下げた議論ができたことは大変有意義であり、今後も継続していきたい。本日の総括協議では、知事と交え、9つの重点課題を中心に議論を深め、県と連合滋賀が連携して、産業・雇用、福祉、教育などの制度改革を推進し、県民が将来にわたって希望と安心が持てる「働くことを軸とする安心社会」をめざした取り組みを進めたい。」と挨拶しました。

三日月知事からは、「新たな基本構想を策定し県政の推進を図り、特に喫緊の課題である雇用対策については、求職者総合支援センター、マザーズジョブステーションの機能強化などの取り組みを積極的に推進していきたい」と挨拶がありました。

その後、各部長等から主要課題9項目についての回答があり、大規模災害への対応、ワーク・ライフ・バランスの推進、地方税財政の確立、地産、地消などの消費拡大、教育予算の増額、などの課題を中心に意見交換を行いました。

連合滋賀は、「政策・制度要求と提言」が具体的に県の施策にどのように反映されているのかの検証も含め、長期的な取り組みを進めていきます。



総括協議で取り上げた項目

【知事直轄組織】

1. 県民生活をまもる施策について
大規模災害等への対応

【総合政策部】

2. ワーク・ライフ・バランスの促進、
男女平等参画社会づくり
ワーク・ライフ・バランスの推進

【総務部】

3. 地方税財政の確立
税財源の確保

【琵琶湖環境部】

4. 環境政策の推進について
地球温暖化防止対策

【健康福祉部】

5. 医療・福祉政策の推進について
子ども・子育てサービスの提供

【農政水産部】

6. 農林水産業政策について
地産・地消などの消費拡大、食育の推進

【土木交通部】

7. 県民生活を守る施策について
流域治水対策について

【教育委員会事務局】

8. 教育、文化・体育政策について
教育予算の増額

【商工観光労働部】

9. 県民主役の県政のために
滋賀県の未来成長戦略の推進

※2015「政策・制度要求と提言」の要請項目の回答要旨については、別途、各構成組織に配布します。

男女平等標語・産休を
済上司は No Thank you

川重冷熱労組

清 如延さん

中国湖南省総工会第17次友好訪日団来県

連合滋賀と友好関係にある湖南省総工会の訪日団6名が11月6日に来県されました。

今回の招聘は、実習生派遣事業を再開するに当たり、実習生事業の受入れ企業の実情の視察として、日中技能者交流センターの会員企業や、県立高等技術専門校を視察し、職業訓練システムについて研修したいとの要望を踏まえて、中国職工対外交流の支援を行うためのものです。

視察後は、湖南省総工会の団員の方と連合滋賀役員との意見交換を行い、双方の労働組合の活動・取り組み状況について共通理解を図りました。

歓迎会では、県労福協・事業団体、日中友好協会のメンバーも加わり友好を深めました。

今回は、滋賀で第16次訪中団を結成し、視察・意見交換を行う予定です。



ソフトバレーボールに加え フリースローと綱引きで交流 連合滋賀青年委員会 第19回スポーツ交流会

連合滋賀青年委員会は恒例となったスポーツ交流会を10月25日、近江八幡市運動公園体育館で開催しました。今年の種目は、毎年恒例のソフトバレーボールに加え、交流戦として、「バスケットボールフリースローレー」と「綱引き」を行いました。

交流戦の「フリースロー」と「綱引き」は、親睦を

深めるため、ソフトバレーチームとは異なる新たなチームを参加者全員によるくじびきで1チーム30人ずつの4チームを結成しました。

対戦も、「はじめて同士」がそれぞれのチームで作戦を練り、心地よい汗を流し、楽しい試合となりました。ソフトバレーでは1位から4位と特別賞を3つ、交流戦は優勝チームへささやかながら賞品を多く用意し、楽しんでもらいました。

みなさんお疲れ様でした。

【ソフトバレーの試合結果】

- ☆優勝 村田製作所労組
- ☆準優勝 旭化成労組スパークス
- ☆第3位 オムロン労組中島組A
- ☆第4位 パナソニックアプライアンス労組彦根地区支部



男女平等標語・お・も・い・や・り

すこしの気持ちで 笑顔咲く

全印刷

桑原 いずみさん